

AIおよびリモートテクノロジーを用いた
心房細動の早期発見により

日本で一番

清水区を 脳梗塞の少ないまちにする
地域医療プロジェクト

SPAFS

Stroke Prevention by early detection of AF
in Shimizu

一般社団法人 静岡市清水医師会

〒424-0053 静岡県静岡市清水区渋川 2 丁目 12-1

TEL 054-345-2919 FAX 054-345-2995

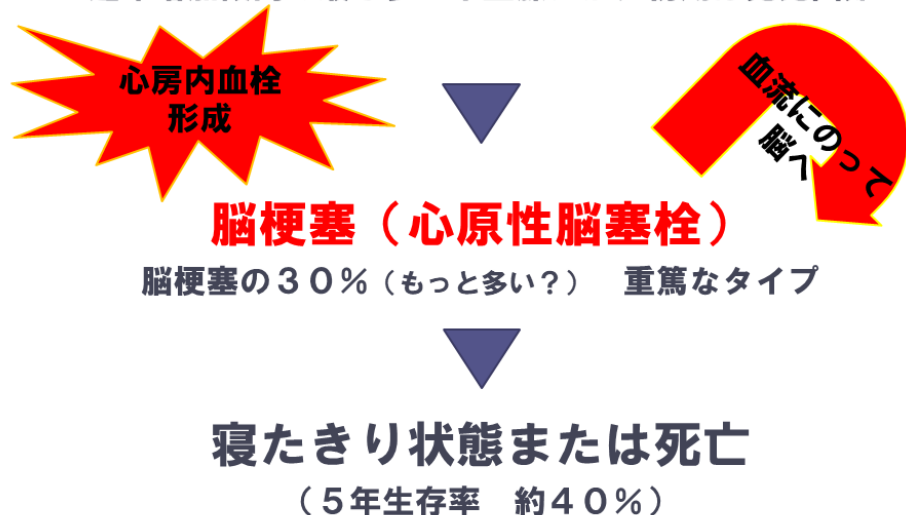
<http://www.shimizu-ishikai.com/>

<http://www.spafs.jp>

SPAFS (Stroke prevention by early detection of AF in Shimizu)

心房細動 (AF:Atrial Fibrillation)

近年増加傾向の最も多い不整脈だが、初期は発見困難



心房細動を早期発見～早期治療開始

(抗凝固療法やカテーテルアブレーション)すれば、

重篤な脳梗塞発症を防ぐことが可能(先制医療)

【心房細動早期発見のメソッド】

心電図のAI診断

(通常診療や健診における12誘導心電図)



デバイス(1ch心電図や脈波センサー)による
リモートモニタリング

(場合により遺伝子診断やバイオマーカー(血液)も活用)

Cf. 心電図AI診断による心房細動発症予測は、既に国立研究開発法人日本医療研究開発機構(AMED)の支援のもと東京医科歯科大学にて立証されており、地域での実証が求められています。

世界に発信する清水区のモデル事業として、

清水医師会診療所と静岡市立清水病院、東京医科歯科大学

の連携ネットワークによりすすめてゆきます！